

# 紙飛行機の滞空時間競う

## オリゼミでギネスに挑戦



広島工業大

3年 宗久和樹

広島工業大（広島市佐伯区）で新入生  
歓迎行事のオリゼミ（オリゼミ）が、学科ごとに開かれた。  
ル（オリゼミ）が、学科ごとに開かれた。



紙飛行機を飛ばす学生

知能機械工学科では学内の鶴記念体育館を利用して「折り紙ヒコーキ大会」を実施し、同学科で学ぶ材料力学や流体力学、制御工学の知識を養った。

同体育館は「JAL折り紙ヒコーキ大会」の広島地区の予選会場ともなっているが、新型コロナウイルスの影響で昨年、一昨年と2年連続中止となった。この大会を参考に、今回はA5サイズの「バガス紙」を用い、はさみを入れずに折った紙飛行機の「滞空時間」を競う競技を実施した。

学生たちは、福山市にある企業の社長が持つ紙飛行機の滞空時間のギネス記録29秒2に挑戦すべく、折り方などを工夫したが、最高は約13秒で及ばなかった。

同学科の宇都宮浩司准教授は「広島のもの造りにも関連する航空工学や、機械工学で重要な流体力学に興味を持ってほしい」と語った。

キャンパスリポーター

